

令和7年度
池田町における
森林環境譲与税の
主な活用状況等

森林整備事業

■ 実験林整備事業

町の目指す3区分の森づくりのため、町有林にて施業方法や成長量等を毎年継続して実験・調査を実施している。

皆伐・再造林施業0.62ha、複層林施業0.24haの区域では獣害被害調査や、保育（下刈り等）に関するコスト分析等を継続的に実施。



皆伐・再造林等実験林施業地

■ 支障木伐採事業

集落や道路沿いの林沿部にある、景観を阻害したり電線に触れる支障木を伐採し、景観形成やライフライン確保を図り、美しく安心安全な環境整備を実施。



施業前



施業後

人材育成事業

■ 森林整備にかかる専門家との勉強会

木望の森100年プロジェクトでは、町が目指す森づくりとして、「優良材の生産・出荷を目指した『木材生産機能林』」「水源涵養など森林が有する機能を高めるため、針広混交林化を目指す『多面的機能発揮林』」「奥地にある原生林では、極力手を加えずに見守る『保護保全林』」の3区分の森づくりの考えている。

この森づくりについて、町において施業等の実験を行う中、専門家を招き、現地研修等を通じ施業技術などを学び、職員等の知識と経験値向上を図った。



森づくり研修



普及啓発事業

■ ウッドスポーツ事業

池田町発祥のウッドスポーツ「ゲッター選手権」を通じ、町内外の出場者に新たな木材利用や木の魅力を体験してもらい、木材活用の普及啓発を図った。



ゲッター選手権大会の様子

■ ホームページ

池田町の森林政策「木望の森100年プロジェクト」の推進にあたり専用のHPを開設しており、各情報を発信し、普及啓発を図った。



■ ウッドファースト事業

町内在住の満1歳を迎える幼児に「積み木」を贈呈し、幼少期から木の温もりに触れることで、木材の良さを伝えるとともに町産材の利用促進を図った。



満1歳の幼児に贈呈される
積み木（木コロン）

公共施設等の木材利用

■ 節目ギフトとして町産材を活用した木製記念品贈呈

二十歳を迎える池田町の新成人の方へ、木製記念品を贈呈しており、令和7年度は池田町産杉を活用した“ふるさとの温もりを感じる”木の照明(スタンドライト)を製作。

池田町で育った新成人が当たり前に目にしてきた山々の風景が、我々の生活を支え、恵みをもたらしてくれていることを伝え、「人も木も、たくさんの人の手によって守られ、育まれてきたことを改めて知ってほしい」とウッドラボ職員から説明を行い、記念品を贈呈した。

今後も森林資源を活用した木製品を検討し、木材利用の普及につなげていく。



二十祭の式典で贈呈された町産杉材で製作された記念品を手にする新成人たち

■ 池田小学校新1年生へ学習机セット贈呈事業

池田小学校へ入学する新1年生へ、6年間利用セットを贈呈し、できる学習机と椅子の6年間使うことで木の優しさ・愛着を伝え、木材や森林への興味を育む取り組みを行った。



新1年生に贈呈された学習机セット

その他関連事業

■ 木質バイオマス製造施設整備事業

令和9年度より製造開始を計画している木質バイオマスチップ製造について、製造施設や機器類の規模・規格等を調査及び導入。



導入されたグラップル

森林環境譲与税の決算状況

■これまでの森林環境譲与税の決算状況

単位／千円

年度	森林環境 譲与税 a	基金 取崩額 b	充当額 c= d+e+f+g+h	森林整備 事業	人材育成 事業	普及啓発 事業	公共施 設等の 木材利用	その他	年度基金 積立額 i= a+b-c	森林環境 譲与税 基金額 j
				d	e	f	g	h		
元年度	12,575	0	0	0	0	0	0	0	12,575	12,575
2年度	26,724	0	8,336	7,029	0	969	0	338	18,388	30,963
3年度	26,848	0	14,756	13,420	420	77	839	0	12,092	43,055
4年度	34,410	7,500	41,910	34,490	2,585	165	4,670	0	0	35,555
5年度	34,410	0	34,410	19,204	429	66	14,711	0	0	35,555
6年度	47,973	0	47,973	26,305	1,013	77	20,578	0	0	35,555
7年度	50,551	12,347	62,898	18,491	88	6,161	1,576	36,582	0	23,208
			当年	18,491	88	6,161	1,576	613		
			繰越	0	0	0	0	35,969		